

モンゴルの風

世界の民族音楽の中でも、モンゴルの音楽ほどユニークな音楽は数少ない。
 ホーミーのふしぎな音色は空間を心地よい振動で満たす。
 馬頭琴のあつみある乾いた音色は西洋の近代楽器ではだすことのできない様々なノイズを含み、心に直接響く。



～ さすらいのホーミー 馬頭琴 ～

岡林立哉

おかばやし たつや

—ぶろい—

- 1972年 名古屋市に生まれる。
- 1998年 初めてモンゴルを訪れる。以後東訪を重ね馬頭琴・ホーミーを習得。
- 2002年 ヨーロッパに渡る。フィンランド・リトアニア・ノルウェー・イギリスなどで音楽祭に出演。
- 2003年 1st CD“NOMAD”発表。
- 2004年 帰国。活動拠点を日本に移す。
- 2005年 バルト3国。イギリスツアー、万国博覧会で演奏。

馬頭琴ライブコンサート

とき 5月6日 (日) 13:30～

ところ ギャラリー 風の巢

福山市加茂町下加茂30-7
 TEL 084-972-7739

参加料 1,200円 (モンゴル茶と素朴なお菓子付)

馬頭琴

モンゴルを代表する楽器。
 馬のしっぽでできた2本の弦を持つ。草原のチェロとも呼ばれ

ホーミー

一度に2つ、又は3つの音を出す歌唱法。モンゴル西部から、中央アジア山岳地方に古くから

